

JINZAI
人財を育てる仕組みづくり

いつも
ありがとう
ございます。



リーダーシップ 便り

リーダーシップ専門情報誌

有限会社ジンザイ

福岡市博多区博多駅東1-10-35

七福ビル2F 〒812-0013

Tel. 092-482-0328

Fax. 092-482-0329

E-mail: info@jinzai-system.com

URL http://www.jinzai-system.com

20

真のリーダーシップが発揮できる人材育成

【信頼力】を高める具体体行動 2-「ほめる」(後編)

■「効果的なほめ方」

前号(19号)で、「ほめる」ことの重要性については、十分認識いただけたと思います。

そこで、今号は、**効果的なほめ方**について述べてみたいと思います。いまから述べる「**ほめ方の基本**」を参考にして、**TPOM(状況、場面、相手など)**にあった皆さま自身のより効果的なほめ方の参考にしてください。

1.まず、自分のことばで「心」をこめてほめる

「なかなかやるじゃないか」、「私も見習わなくては」など、**自分流の言葉**で**本心**でほめていることを教えてください

2.「表現の工夫」をしてほめる

笑顔で相手の目を見て、「**心と言葉と表情**」が一致するようにほめてください。(拍手、握手、ハグなど)

3.「第三者」を介してほめる

陰口はよくないですが、「**陰ほめ**」は効果的です。対象者の友人などに対して対象者をほめたり、最も効果的なのは、**社長**をつうじてほめてもらうこと。

4.「ひと前」でほめる工夫を!

ひと前でほめるのは非常に効果的なのですが、前提条件があります。それは、常に、**賞罰の基準を明確**にしておくということです。不明確なままほめるとその人だけをえこひいきしているように思われますので、ご注意ください。これを制度がしたものが、「表彰制度」です。

5.ほめる「手段」を使い分ける

直接口頭でほめたほうが良いのか?メモ?手紙?電話?メール?など、最も効果的な手段をえらんでください。

6.「具体的」に良い点をほめる

気づいたときに、**その場ですぐ**ほめる。もちろん、タイミングを考えてほめてください。

8.結果だけではなく、「プロセス」もほめる

たとえ失敗したとしても、その過程においての本人の**努力**や**創意工夫**などのすばらしさをほめる。

9.「小さな成果」もほめる

たとえば、新人などがやさしい作業がはじめてできるようになった場合なども「うまくできるようになったね!」などとほめてください。

10.「目立たない仕事」の部下をほめる

地味でおとなしく目立たない部下でも、コツコツと粘りよく継続して仕事をしてくれている場合など、その**良い点**を指摘しましょう。

11.「期待」や「激励」の言葉も伝える

「ピグマリオン・マネジメント」(J.スターリング・リビングストン<元ハーバード・ビジネススクール 教授>)。ピグマリオン効果というのがありますが、同様に、『**部下に期待すると部下はその期待に努力するようになる**』というものです。

12.「I(アイ)メッセージ」を活用する

コーチング手法のひとつ。

「あなたの挨拶は元気がよくてすばらしい」(You **メッセージ** = 「あなた」を主語にしてほめる)。「あなたの挨拶はいつも元気がよくてすばらしいので、私も一日元気に仕事ができる」など(I **メッセージ** = あいての態度・行動によってわたし自身が良い影響を受ける-「わたし」が主語)。

13.「ありがとう」もほめ言葉に!

例えば、コピーをしてくれたりお茶を入れてくれた場合など、相手が自分のためになにかをしてくれた場合は、必ず、口にだして**感謝のことば**を言いましょ!

以上を参考にいただき、まず、「**ほめ言葉を使う回数**」または「**ほめる対象人数**」などの**目標**を決めて、「**ほめることが習慣**」になるよう、**毎日、ほめる行為を実践・継続**してください。飲食店などでも試してみたいかがでしょうか?

～就任1年目で3年ぶりのパ・リーグ優勝を果たした-人を大切にするリーダー～

【事例】栗山英樹監督のリーダーシップに学ぶ

プロ野球、パ・リーグの北海道日本ハムファイターズが09年以来3年ぶりのリーグ優勝を果たした。栗山英樹監督(51)は就任1年目で、チームをリーグ制覇に導きました。



同監督は、優勝インタビューに答えて、『私はほとんど何もなかったが、選手が本当によくやってくれた。感謝している。選手全員の《すべての試合に勝つんだ》という思いが(優勝の)要因。選手たちの心がここに導いてくれた』と語りました。

典型は試合後のコメント。勝ったときには「選手が頑張った」。敗れても「負けたのはオレのせい」との発言を繰り返した。正に、リーダーのお手本です。

わたしは、栗山監督のこのような誠実で謙虚な姿勢、また、感謝するところが、リーダーには絶対必要な条件ではないかと考えています。

まさに、右の写真などは同監督の「真摯さ」の表れではないでしょうか？

私は、過去、野球の試合の前後に監督同士が握手する姿のうち、このように低姿勢の監督をみた記憶がありません。



監督より年下の吉井投手コーチに話すときも腰を低くして「お願いベース」のはなし方をしていたそうです。

また、現在、評論家をしている広澤氏にも「何か気づいたことがあったら教えてくれ」と純粋に情報と意見を求めていたとのこと。同氏はそのことについて、「各球団を取材していて監督に教えを請われたのは初めてだった」。また、「監督になれば、見栄やプライドがあるものだが、そうしたつまらないプライドもなければ、無用に意地を張ることもない」と栗山監督について述べています。

そして、日本一にはいま一步及びみませんでした。当初、新米監督として期待されていなかったにもかかわらず、パ・リーグ優勝という実績を示した。口でいくら言っても、実績をださなければ人はついてきません。ひとは行動や実績でしか評価しないのです。そして、その実績が信頼へと結びつくのです。

栗山氏は、ダルビッシュ選手の抜けた穴を現有戦力でどう戦うかを考えました。いいわけ、泣きごとなし！

うまく若手を起用し、がまんしながら使いつづけることにより、成長させたのです。まず、吉川投手。日本シリーズでは力を発揮できませんでしたが、昨季まで3年間勝ち星のなかった同投手は今季14勝をあげてプロ野球MVPにも選ばれました。かれは、「監督に育ててもらった」と感謝しています。監督は、彼に対して「今年ダメならユニフォームを脱がす。覚悟をもって一年やってみろ」とはっぱをかけながら、同時に、選手を信じたそうです。

もう一人は、中田選手。打率1割台だった彼を4番に抜擢。監督は、「きっとできると信じて(選手を)使う。監督なんて、信じることしかできないから」と述べています。その中田選手は、日本シリーズ最終戦でも3ランホームランを打つなど、日ハムの主砲に育ちました。かれは、優勝インタビューで次のように述べています。「監督は、毎日のように、『きょうも頑張るぞ』といってくれました。最高の一言でした」。また、今季2,000本安打を達成したベテランの稲葉選手も「監督から『稲葉、たのむぞ』とそんなことばを毎日のようにかけていただきました。『しっかりやらないとな』という思いにさせてもらいました」と述べています。

以上のように、すべての選手を見捨てることなく生かそうとして使い続け育て、且つ、選手をたて、選手やファンにも感謝する。いつも選手を見続け、毎日、本人のモチベーションが上がるように声をかける。選手を信じて、責任は自分がとるという覚悟。

しかも目標はただ一つ「優勝」。しかし、試合をするのは選手です。したがって、リーダーである監督は、いかに選手が力を発揮してくれるようになるかだけを考え、その環境をつくれれば結果はついてくるのです。まさに、栗山監督は、「人を大切にするリーダー」ですね？！

*推薦図書「覚悟」(栗山英樹著、KKベストセラーズ)

当社主催の研修、セミナー・勉強会

【人を大切にするリーダー研究会】

～信頼力の高い真のリーダーを目指して！～
人を大切にする優れたリーダーを目指し、事例を通じて、そのリーダーの考え方や行動、仕組みづくりなどを学び活用します。

【日時】 第3回目：2012年12月5日(水) 9時00分～11時30分

【会場】 弊社事務所〔福岡市博多区博多駅東1-10-35七福ビル〕

【対象者】 中小企業経営者または後継者 先着「7名」

【内容】 事例DVDまたはビデオ視聴-事例「伊那食品工業」

個人研究⇒クラス研究⇒自社への活用検討

【参加費】 3,000円(税込)/一人

【申込方法】 お電話頂くか、メールにてお申し込み下さい。
詳細はホームページをご覧ください。 **ジンザイ** で **検索**



プロフィール 片島 尚幸 [かたしま なおゆき]

- 出身：広島県尾道市(因島)
- 最終学歴：立命館大学産業社会学部卒
- 趣味：クラシック音楽鑑賞、温泉宿巡り

■関与先、資格

福岡大学非常勤講師、(社)日本能率協会講師、中小企業総合事業団中小企業ベンチャー総合支援センター九州 アドバイザー、北九州中小企業支援センター専門家、福岡再生クラブ講師、日本経営品質セルフアセッサー、TA交流分析士1級

■異業種交流会主催(幹事役含む)

〔人材開発研究会、元気会、光ケンジの会、広島県人会、OEC会、立命館大50会、和橋の会〕

★セミナー・勉強会・その他詳しくは

下記電話またはメールにてお問い合わせください。

有限会社ジンザイ Tel.092-482-0328

✉ info@jinzai-system.com

ホームページは

ジンザイ で

検索